

審議会等の議事の要旨(要点)

会議名称	立川市総合都市交通戦略協議会
開催日時	令和4年11月28日(月)午後2時から
開催場所	立川市役所1階101会議室
次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 議 事</p> <p>(1) 中期計画期間の主な重点的交通戦略・施策について</p> <p>(2) 施策の進捗状況、評価指標について</p> <p>(3) 立川駅周辺地区都市再生整備計画 事後評価について</p> <p>(4) その他</p> <p>3. 閉 会</p>
配布資料	<p>資料1: 中期計画期間の主な重点的交通戦略・施策</p> <p>資料2: 施策の進捗状況</p> <p>資料3: 評価指標(令和2年度以降)</p> <p>資料4: 都市再生整備計画 事後評価原案</p> <p>資料5: JR立川駅周辺案内サイン等に係るアンケート調査</p> <p>参考資料1: 立川市総合都市交通戦略協議会委員名簿</p> <p>参考資料2: 立川市総合都市交通戦略協議会設置要綱</p> <p>参考資料3: 都市再生整備計画事後評価原案 添付書類</p> <p>参考資料4: 社会資本総合整備計画 事後評価書</p>
出席者	<p>[委員]</p> <p>大森宣暁会長、今佐和子委員、新井和典委員、岩澤貴顕委員、 渡辺幸司委員、吉川武士委員、秦野凌委員、早田俊介委員、 藤原廣彦委員、伊藤正人委員、布施明委員</p> <p>[事務局]</p> <p>野澤英一(まちづくり部長)、平出賢一(基盤整備担当部長)、 大和田智也(交通対策課長)、加藤暁子(交通企画係長)、 一ノ瀬達郎(交通企画係)</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	2人
会議結果	<p>1. 開 会</p> <p>委員任期の更新に伴い、新委員に辞令交付を行った。会長、副会長の職は、互選により継続となった。</p> <p>2. 議 事</p> <p>(1) 中期計画期間の主な重点的交通戦略・施策について、資料1をもとに事務局より説明を行った。</p> <p><委員></p> <p>自転車ナビマーク・ナビラインについて整備後にナビマーク等の上を自転車</p>

が走るようになったか。

<事務局>

市と警察との間では効果が高いと話をしている。また、体感的には逆走について減ったと感じている。

(2) 施策の進捗状況、評価指標について、資料2・3をもとに事務局より説明を行った。

<委員>

市内全域で取り組む施策の目標で、「高齢者、子育て層、子どもなどさまざまな人々が、自宅周辺や地域拠点まで安全・安心に移動することができる」と掲げているので、評価指標でも、高齢者、子育て層、子どものそれぞれの層別にどう感じているのかについても数値があると効果が分かりやすい。

<事務局>

数値についてはクロス集計により把握することができるが、交通対策課で所管している数値ではないため、公表については庁内で調整が必要。

<委員>

資料2で各施策が順調に推移していることが分かった。一方で、コロナ禍で想定していた定量的結果が得られなかったと思われるが、こちらの結果を受けて事務局ではどのような評価をしているのか。

資料3の評価だけでは、今後のPDCAを回すことが難しいと考えるが、事務局では、今後どのように進めようと考えているのか。

<事務局>

乗車人員などではコロナの影響があり評価は難しいと思うが、市政に関するアンケートの項目で、立川駅周辺の市街地の魅力や道路の整備状況に対する満足度を計測しているため、ある程度の評価をすることができるのではないかと考えている。

<委員>

順調に推移している、様子を見た方がいい、別の分析の必要があるなど、今後の方針としてどのように考えるか。

<事務局>

単年度で比較を行うのは難しいこと、中期計画期間は5年間あることから、その中で推移を見守っていきたいと考えている。

(3) 立川駅周辺地区都市再生整備計画の事後評価について、資料4、5をもとに事務局より説明を行った。

<会長>

当初、エスカレーター設置と案内サインの設置を計画していたが、エスカレーターについては別の財源で行ったのか。

<事務局>

エスカレーターについては、当初交付金をもらう予定であったが、契約不調により交付金をもらう段階で契約が出来なかったため補助金がもらえなかった。そのため、市の一般財源や JRA からの寄付金を充当しエスカレーターを設置した。

<委員>

指標1のエスカレーターの設置による歩行者の回遊性向上の効果について目標達成が未達成でフォローアップは行わないこととしているが、その後歩行者数を計測して利用者が増加していることがわかり回遊性の向上に寄与していることが伺われるという解釈をしていたので、そのこともわかるように書いておいた方がいいと思う。また、(4)には書いてあるが、(2)の総合所見でも歩行者数が増加していることについて書いた方がいい。

<事務局>

(2)にも歩行者の増加について記載したい。

<委員>

サインを検討する際に地元の意見は反映しているのか。

<事務局>

案内サインの設置が公共交通の乗換をスムーズに案内できるようにしようというところから始まっているので、ターミナルとしての鉄道からモノレールなどへスムーズに移動できるよう案内しようとした。

立川市交通結節推進協議会で交通事業者、自治会連合会、老人クラブ連合会、障害団体、観光協会の方に入ってもらい検討した。協議会では、交通の移動をスムーズにしようとしたが、目的地までどう行けばいいかについても聞かれることもよくある。立川には商業施設が非常多いので、商業施設の案内については、今後の課題と考えている。

3. その他

<委員>

立川市総合都市交通戦略は令和6年度までだが、それ以降も自転車駐車場整備は当然進めていくことになると思う。南口もやっと大きな駐輪場ができてよくなったと思うが、一か所大きなところは借りている状態となっている。いずれは返さなければならないと思うので、令和6年度以降も考えてほしい。できれば借りているところを返して、しっかりできるようにすると南口の駐輪対策は良くなると思う。

<事務局>

南口の借りている土地に関しては自転車だけの問題ではなく、南口のまちづくり全体の問題と思うので、市全体として考えていくことになると思う。

立川市総合都市交通戦略については、今の段階で延長して続けていくことが決まってない。また色々な協議会があり、整理が必要と考えている。計画がなくなっても駐輪場についてはしっかりやっていく、他の計画で捨っていくという

	ことになると思う。 4. 閉 会
担当	まちづくり部交通対策課交通企画係 電話 042-523-2111(2279)